
おいしさのワケ

ミズキシホ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

おいしさのワケ

【Nコード】

N6622C

【作者名】

ミズキシホ

【あらすじ】

思い込みの激しいミズキ父。扱いやすいのか扱いにくいのか…。

ミズキ父は、
自分がいいと思ったものは、
ひとがなんと言おうと耳を貸さず、
貫き通すひとです。

希少なものに価値がある、
と思っちゃうタイプでもあります。

以前、
彼は、
コーヒー焼酎にハマりました。

焼酎にコーヒー豆を漬けるあれです。

自家製でもできますが、
彼が熱心にハマったのが、
洞爺湖のどこだかのお店に売ってるというコーヒー焼酎。

出張で行ったといっちは買ってきて、
大事に大事に呑んでいました。

さて、
ある日、
わたしが洞爺湖へ行くことになりました。

早速、

『ついでに、コーヒー焼酎を買ってこい』との、
お達しであります。

『ちゃんと、『ナントカ』という店でなきゃダメだぞ！』
との厳命であります。

ハイハイ。
仰せの通りに購入して参りました。

そこで、
わたしは、
フト、
疑問に思ったのです。

〓〓日本全国津々浦々、
本当にあのお店じゃなきゃ買えないのだろうか〓〓

当時、
すでにネットを使える環境にありましたので、
チヨチヨっと検索。

【全国のセイコーマートでお求めになれます】

これは父に伝えるべきか否か。

父抜き家族会議の末、

「伝えない」

ことに。

父の中では、

「洞爺湖のあの店で『しか』買えない」

という【限定感】が、

あの焼酎のおいしさを引き立てていたのです。

結局、

しばらく………くたってから、

「あの焼酎さ、セイコーマートで買えるみたいよ。」

と教えてあげました。

それ以来、

彼があの焼酎を呑んでいるのを見たことはありません。

まあ、

単純に、

熱しやすく冷めやすいだけなんですけどね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6622c/>

おいしさのワケ

2010年10月11日22時46分発行